

## 理事長挨拶

日本デイケア学会 理事長 原 敬造

本年は、1974年に精神科デイケアが精神科デイ・ケア料として診療報酬で認められてから50年にあたる。この長い歴史の中で積み重ねた実践により、精神科デイケアは確立した治療法として評価されている。精神科デイケアは治療とリハビリテーションが融合した活動であり、利用者のQOLの改善をはかることが主たる目的である。デイケアの治療技法は、認知行動療法、SST、集団精神療法、芸術療法、作業療法等エビデンスの確立した治療技法の組み合わせであり総和である。

デイケアに携わるスタッフは、これらの技法を状況に応じて駆使できるよう技法に精通していなければならず、日々の研鑽がデイケアの質の担保には欠かせない。また、デイケアでは利用者の希望に基づいた社会参加を支援しており、様々な社会資源を利用した活動が必要不可欠であり、活動が施設内にとどまってはならない。

2023年度、日本デイケア学会第28回大会の大会長シンポジウムで、大会長の川壽弘詔先生より、1. デイケアの基本的な役割、2. デイケアの医療経済的な位置づけ、3. 地域医療におけるデイケアの役割、4. IT技術革新がデイケアに与える影響とその取り入れ、5. デイケアにおける臨床研究、6. デイケアの将来と展望といった課題が出された。これらの課題はデイケアの発展にとって重要であり、議論を深めていかなければならない。

少子化と高齢化の進行により、疾病構造の変化が生じている。これまでは、主として統合失調症を患っている方の利用が多かったが、気分障害を患っている方や発達障害を持つ方の利用の増加がみられており、利用者の変化に対応した取り組みが求められる。

2025年には、日本デイケア学会が設立され30年になる。30年間の実践を踏まえて、時代の変化に対応し、直面する様々な課題の解決に向け会員の皆様と歩み、デイケアが利用者にとって安心できる場であり、利用者のQOL改善を促進する場となるように活動を展開したい。



## 日本デイケア学会役員

理事長：原 敬造

副理事長：五十嵐良雄、四本かやの

理事：相川章子、飯田仁志、太田喜久子、大嶋正浩、小田良光、川寄弘詔、佐藤志津、佐藤俊之、関 健、富澤宏輔、西浦竹彦、長谷川直実、林みづ穂、肥田裕久、福田祥之、福智寿彦、藤井 恒、横山浩之

監 事：鈴木実穂、古屋龍太

事務局長：飯田仁志

評議員：（地区別、五十音順）

北海道・東北地区●佐藤志津（PSW）、長谷川直実（DR）、林みづ穂（DR）、原 敬造（DR）

関東地区●相川章子（PSW）、五十嵐良雄（DR）、肥田裕久（DR）、藤井 恒（心理）

中部地区●大嶋正浩（DR）、福智寿彦（DR）

北陸・信越地区●小田良光（PSW）

近畿地区●富澤宏輔（PSW）、西浦竹彦（DR）、四本かやの（OT）

中国・四国地区●福田祥之（OT）

九州地区●飯田仁志（DR）、川寄弘詔（DR）、横山浩之（運動指導士）

高齢者全国区●太田喜久子（DR）、佐藤俊之（OT・PSW）、関 健（DR）

## 委員会（会則第13条により、理事長が理事会に諮り設けられた委員会）

組織委員会：佐藤志津、太田喜久子、小田良光、佐藤俊之、西浦竹彦、福智寿彦、横山浩之

広報委員会：林みづ穂、太田喜久子、川寄弘詔、佐藤俊之、長谷川直実、横山浩之

研修委員会：飯田仁志、大嶋正浩、小田良光、関 健、福田祥之

編集委員会：四本かやの、相川章子、富澤宏輔、藤井 恒

調査研究委員会：五十嵐良雄、相川章子、大嶋正浩、川寄弘詔、関 健、西浦竹彦、藤井 恒、福智寿彦

社会保険委員会：原 敬造、五十嵐良雄、長谷川直実、福田祥之

倫理委員会：富澤宏輔、鈴木実穂、古屋龍太、四本かやの

# 第29回年次大会兵庫大会開催に向けて

第29回年次大会兵庫大会 大会長 四本かやの  
神戸大学大学院保健学研究科

2019年秋の北海道大会以来4年半ぶりに現地開催された3月の福岡大会では、嬉しい再会や新たな出会いがありました。その喜びが日常の臨床へのエネルギーに繋がります。

もちろん第29回兵庫大会も対面開催です！12月7日(土)～8日(日)に神戸商工会議所会館で皆様とお会いできるよう、デイケア学会の理事の先生方、兵庫県や大阪府のデイケア連絡会の皆様の協力を得ながら、実行委員会で準備を進めています。本大会は、初めての兵庫県開催、初めての12月開催、初めての作業療法士大会長という初もの尽くしです！食べ物だったら初ものは寿命を延ばすなど縁起物です。兵庫大会もたくさんの縁を起こし結びたいと思います。

大会テーマ「社会の中のデイケア～ミーニングフルに始める／続ける／終える～」には、この大会に参加した専門職やデイケア利用者が、デイケアの開始・継続・終了を「なんとなく」「漫然と」するのではなく「ミーニングフル(有意1義)に」できるよう、考えや想いを共有し、ひいては日常のそれぞれのデイケア実践がよりよいものになることへの期待を込めました。さらには、デイケア・デイサービス従事者などの専門職が、ミーニングフルにこの仕事に取り組もう！という思いも込められています。このような期待を背景に、兵庫大会は、当事者がエキスパートとして実行委員会に参画し、co-designで準備中です。「ミーニング(meaning)」というのは、その人にとっての意味ということです。そのミーニングがいっぱい詰まった(full)会にしたいと思っています。

本大会のプログラム構成の底流にあるのは、デイケア利用者である当事者から学ぶ機会を提供すること、新たな視点や技法などのアイデアを提供すること、変化する日

本社会や各地域社会の中での位置づけを考える機会を提供することです。過去を振り返り、現在を俯瞰し、将来を展望し、気づけなかったニーズや生まれつつあるニーズを感じたり、出番やブラッシュアップを待つ手法を見つかけたりする時と場であってほしいと思います。サービスの提供者と利用者双方、加えて研究者・開発者のモチベーションが高まり、まさにミーニングフルにデイケアに関わる仲間が増える踏み切り板(跳び箱などの前にあるアレです)にしたいのです。そのために必要となる情報交換、討議、そして何よりも実存的交流による縁の拡がりを願っています。

その一助になるよう会場内で懇親会を計画しています。できるだけ若い皆さんにも参加してもらいやすくリーズナブルな関西価格をめざしています。30年以上前、初めての学会の懇親会に同僚と参加し、壇上でしか見たことのない講演者に質問し、とても丁寧に他の情報や資料も教えていただき、天にも昇る気分になりました。再び近くお話する機会は得られませんでした。臨床で心が挫けそうになるたびに思いだし、その時の3ショット写真はすっかりセピア色になりましたが、今でも胸がキュンとします。これは一人の新人専門職の経験ですから、もっと素敵なストーリーが待っているかもしれません。

全国各地の皆様！ぜひ兵庫大会にお運びいただき、情報発信・共有をし、登壇された先生方、先輩方、仲間たちと交流して世界を拓け、ご自身の日常にお土産をたくさん持ち帰ってください。一人で、お仲間を誘って、ぜひご参集ください。12月のロマンティックな神戸でお待ちしています。

# 日本デイケア学会 第29回年次大会兵庫大会のご案内

大会テーマ

**社会の中のデイケア**  
～ ミーニングフルに始める/続ける/終わる ～

会期

2024年 **12月7日(土)・8日(日)**

会場

**神戸商工会議所会館 《現地開催》**  
(神戸市ポートアイランド)



ホームページ

<https://www.daycare.gr.jp/29th/>

大会長

**四本 かやの** (神戸大学大学院保健学研究科)

参加費

参加区分	事前登録	直前・当日登録
会員	8,000円	9,000円
非会員	9,000円	12,000円
当事者・家族・学生	3,000円	3,000円

※参加登録は、「オンラインサイトによるクレジット決済のみ」の対応です。

研修単位の認定：各職種、以下の単位・ポイントが取得できます。

日本精神神経学会 専門医制度の更新単位

日本精神科看護協会 精神科認定看護師更新のための活動実績ポイント

日本作業療法士協会 生涯教育基礎ポイント

日本精神保健福祉士協会 認定精神保健福祉士の取得・更新のためのポイント

懇親会について：学会にご参加いただいた方々の交流の場として開催します。

日時：2024年12月7日(土) プログラム終了直後(18:30頃～20:00頃)

場所：大会会場(神戸商工会議所会館)内イベントホール

形式：立食・ビュッフェスタイル

参加費：3,000～4,000円

一般演題募集中 詳しくはホームページをご覧ください。

大会事務局：神戸大学大学院保健学研究科

運営事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13(有) エム・シー・ミュージズ内  
TEL: 03-3812-0383 FAX: 03-3812-0376  
E-mail: daycare2024@mcmuse.co.jp

---

# 大会プログラム

## 大会長講演「社会の中のデイケア（仮）」

演者 神戸大学大学院保健学研究科 准教授 四本かやの

## 特別講演「我が国の精神保健福祉施策と精神科デイケア等の近未来」

演者 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課課長 小林秀幸

## 教育講演「認知症実践者としてのまなざし（仮）」

演者 兵庫医科大学 看護学部 准教授 加藤泰子

## 教育講演「自閉スペクトラム症へのロボットを用いた支援の潜在性」

演者 長崎大学医学部精神神経科学教室 教授 熊崎博一

## 教育講演「リカバリーするデイケア～個人の希望と集団の力」

演者 帝京大学・帝京平成大学名誉教授  
神経科土田病院・ひだクリニックお台場 池淵恵美

## シンポジウム【大会テーマ企画Ⅰ 始める】「始めるときのアセスメント～各職種編～（仮）」

演者 デイケア専門職各職種（調整中）

## ワークショップ【大会テーマ企画Ⅱ 続ける】「デイケアは居場所？リハビリ？何？（仮）」

主催 兵庫県デイケア連絡会

## シンポジウム【大会テーマ企画Ⅲ 終える】

「利用者の地域生活やリカバリーのためにできること」

主催 大阪府デイケア連絡会

演者 社会医療法人北斗会さわ病院デイナイトケア室 係長 田口功  
特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院医療福祉部デイケア室  
室長 中西寛平、他

## ワークショップ「コミュニケーションロボットの精神医学分野での実用を目指して

～コミュニケーションロボットを体験してみよう～（仮）」

スタッフ・参加者等 調整中

## 【スペシャル企画】当事者対談「辛口！デイケア利用者のつぶやき」

司会・演者：特定非営利活動法人 自立生活夢宙センター 当事者スタッフ 陶延彰  
当事者ヘルパー 茶屋友視

一般演題の口述発表・ポスター発表を予定しています。

# 第28回年次大会福岡大会を終えて

日本デイケア学会第28回年次大会福岡大会 大会長 川崎 弘詔  
福岡大学医学部精神医学教室

この度、2024年3月16日(土)と17日(日)の2日間、第28回日本デイケア学会福岡大会を福岡市の中心部天神地区の「電気ビル共創館&みらいホール」にて開催させて頂きました。本大会はコロナ禍の中、4年ぶりの完全現地開催とさせて頂きましたが、年度末の大変お忙しい中、450名を超える皆さまにご来場いただき盛会の中、全プログラムを無事に終了することが出来ました。

ご登壇いただきました皆さま、ご支援いただいた企業の皆さまを始めとして本大会に参加いただいた関係者全員に、多大なるご支援およびご協力を賜りましたこと、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

本大会のテーマは「デイケアの再発見-ひとを育み、未来を拓く居場所へ-」とさせて頂きました。

現代社会の流れは急速で大きく人間についての価値観も変容しており、先行きが不透明で混沌としている中、われわれが日頃運営しているデイケア(集団療法的社会)という場所は、どういった場所なのか再考したいというところから始まりました。

コロナ禍でコミュニケーションが制約される中、社会的孤立を和らげ心の支えとなるコミュニティの拠点でもあるというデイケアの役割の大切さを再認識される機会は多かったのではないのでしょうか。

上述したようなテーマを意識し、本大会のプログラムを以下のように構成しました(敬称略、演者のみ記載)。

## ・教育講演 2

「1:地域包括ケアシステムにおける精神科デイケアの役割(原敬造)」

「2:時代状況とデイケアの位置~現代精神医療史に照らして~(古屋龍太)」

## ・大会長特別企画:

「デイケア学会の役割と展望(原敬造、内野俊郎、四本かやの、飯田仁志)」

## ・シンポジウム 3:

「1:デイケアとスポーツ(松本信雄、湯原徹、横山浩之)」

「2:就労および復職支援におけるデイケアの役割最高を通じてデイケア学会の行うべきこと(智田文徳、佐々木一、堀輝)」

「3:様々な医療機関における重度認知症デイケアの取り組み(馬場冠治、永野健太、勢島泰子)」

・一般演題 12:計 49 演題

・ランチョンセミナー 5:

以上のように、多くの演者の方々にご協力頂き、充実したプログラムを展開することができました。演者と講演名を見ていただくことで、学会を再度思い出して頂けますと幸いです。

今回の大会では、特にデイケアを運営する医療従事者を対象に、我々の教室員の発案で、座談会とワークショップの2つを企画させて頂きました。座談会は、「デイケアに関わる人々のほやき座談会(コンダクター:吉村 裕太)」として、企画させて頂きました。我々も驚くほど人数が集まり、満員御礼となりました。このことは、従来の講演主体の受動的な学会コンテンツではなく積極的な参加型の企画がとてもニーズが高いことを示しており、時代の流れと共に学会の開催内容も考えて行く必要があるのではと考えさせられました。

もう一つの参加型プログラム企画として、ワークショップ「困難事例から学ぶ~居場所の良し悪し~(吉村 裕太、山口 佳美)」も企画し、こちらも盛況でした。

本大会が、デイケアがひとを育み未来を拓く居場所として多くの可能性を包含したプラットフォームであることが再認識されその本質の理解と新たな展望開拓の道しるべとなり、また、未来のデイケアを構築するために新たな可能性に挑戦し共感し合う場としてご活用いただけたのであれば望外のよこびです。

学会運営に際しまして不行き届きの点多々あったことと存じます。何卒ご寛容下さいますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のますますのご発展とご健勝を心よりお祈りしております。

# デイケア 西から東から、北から南から…

## 福岡大会印象記

### 第28回年次大会福岡大会においてシンポジスト登壇を経験して

松本 信雄

まずは、第28回日本デイケア学会年次福岡大会におきまして、もったいなくもシンポジストとしてお招きいただきましたこと、運営の皆様にご心より感謝申し上げます。

普段このような壇上に立つ機会が少ないものですから、「デイケアとスポーツ」というテーマでの依頼を引き受けたまでは良かったのですが、あまりの大役に荷が勝つ思いも強まり、「はて？何を述べたら良いのやら。これからは上手な断り方も身につけねば。」と恥ずかしながら脳裏をよぎったものです。それでもいざ、論考をまとめ始めますと、昨今のコロナ禍以降のデイケアの方向性が掴めないままでもありましたので、最近取り組み始めていた運動療法と評価の話をもとめる決心がつき、だんだんと「あ～これは天から頂いた機会だったのだ。」と、次第に登壇日が楽しみとなっていったことを思い出します。

シンポジウムでは、運動療法と描画による関連性の話題を

提供しました。私は、これからの精神科医療は対象者の見えない心をどのように具象化して、言葉に出せない心の叫び声を感じとっていけるかが、より良い支援を展開するための鍵になると信じています。それには、人の心は見えないけど確かに存在し、それはあらゆるものに投影されるという対象関係論的な見方も必要かと思えますし、より精神医学への見識も深めなければなりません。本学会での貴重な体験を通じて、自身のこれからのすべき役割が確かなものになったと手応えを感じております。講演や演題を聴講する中にも、障害や年齢層も多様化する昨今のデイケアがこれから向かうべき姿が見え、まさに本大会のテーマでもある、「デイケアの再発見-ひとを育み、未来を拓く居場所へ-」の深い意味を見出した気持ちです。いつの日かまたこのような機会がいただけたら、よりデイケアの発展に寄与できる内容を語れますようさらに精進してまいります。(緑風会水戸病院 精神科デイケア課 作業療法士)

## 人生初の口述発表を経験して

小林 陽香

2024年3月16日、17日に第28回日本デイケア学会福岡大会が開催されました。今大会では口述発表を人生で初めて経験いたしましたので、その感想と若輩者ではありますが私が感じた年次大会に参加する良さを述べさせていただきます。

口述発表では、私が所属する東京リワークセンターのプログラムを前年度の実績と合わせて報告させていただきました。発表当日は朝から緊張しており、ランチョンセミナーのお弁当が喉を通らなかったことを記憶しています。発表の場では、足や声が震えながらなんとか発表をしていました。いただいた質問に対して、端的に説明し、質問者の方とディスカッションすることの難しさを痛感し、発表後も達成感はありません、「なぜあのような回答をしたのだろうか。」としばらく反芻思考に陥ることもありました。しかし、このような貴重な経験の場を設けていただいたことに大変感謝しています。発表を終えて一息つくと、他の方の発表に集中することができました。どの講演、発表でも勉強になることばかりで、翌週以降の働く活力となり

ました。特に私はリワークデイケアに勤務していることもあり、リワークや就労支援に関する発表や講演がとても興味深かったです。

年次大会に参加して感じたことは、「仲間を感じられる」ということです。職場内だけのコミュニティにとどまると、かかわる人も限定的となります。場合によっては得る知識、成長もとどまってしまうかもしれません。しかし、大会に参加してみると、全国のデイケアにおいてエネルギーにご活躍される方や、日々頭を悩ませている方がこんなにもいるのだと驚きと安堵がありました。ご活躍されている方々や新たな知識に出会うことで、私も頑張ろうと日々の臨床を前向きにとらえることができ、ひいては患者さんに良い影響をもたらすだろうと感じられる大会でした。最後になりましたが、このような機会を設けていただきありがとうございます。(医療法人社団柏水会三軒茶屋診療所東京リワークセンター・作業療法士)

# 日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp

URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

## 入会申込書

申込日 令和 年 月 日

(正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	( )
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	( )	FAX	( )
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ